

ワークショップ 4

「バレット食道からの発がんを考える」

司会 八尾 隆史（順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学）

草野 央（北里大学医学部消化器内科）

バレット食道は食道腺癌の前癌病変として認識されている。食生活の欧米化、*H. pylori* 感染率低下など、本邦においても逆流性食道炎が増加しているが、今後は欧米と同じようにバレット食道腺癌が増えるのであろうか？欧米と本邦での発癌機序は同じであらうか？逆流性食道炎からバレット食道さらに癌発生機序の詳細は未だ不明な点も多い。本セッションではバレット食道からの発癌解明に向けた基礎的研究から臨床的知見を含む多彩な演題を広く募集する。